



第三中学校だより

学校教育目標 **気づき・考え・挑戦する** ～新時代を生きる力を創造する～

和光市立第三中学校 〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1

TEL 048-461-3306 ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>

相談室 TEL048-461-6698

校訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

令和7年1月8日発行

“なぜ？”「どうして？」と考えられる好奇心や、

「知りたい」「分かりたい」と感じられる知識や感性”を持つこと

校長 近藤 克代

新しい年を迎えました。年始は天候に恵まれ、“初明り(はわか)

 (初日の出の直前にほのぼのと差してくる太陽の光)を浴び、きれいな初日の出を拝めた人も多いのではないのでしょうか。そして、“初晴(はわか) (1月1日の晴天のこと。農家では五穀豊穡のしるし)となった1年のスタートでした。しかし、豪雪地域で生活する方々にとっては、大雪の被害で大変なご苦労をされているニュースを連日のように目にし、日本屈指の豪雪地域でもあり、林間学校で大変お世話になった新潟県十日町市の方々の安全と、復興の兆しがいまだに定まらない石川県能登半島の皆様の健康を、昇る朝日を拝み、願いました。そして、今日から3学期が始まります。1, 2年生は52日、3年生は卒業式まで45日の登校となります。1年間の学校生活の中で最も短い期間ですが、迎える春(4月)に自分がどのような姿で成長し、新しいステージでどのような花を咲かせるのか、未来の自分を想像し、過去への拘りや後悔は大概にし、未来への大切な準備期間と考え今を大切に過ごしてほしいと願っています。

3学期最初の登校の様子

「過去への拘りは大概に…」と記したばかりですが、今年の冬休みは、週休日を含め9連休(官庁の休みを基準)でした。ご家族や親戚、ご友人などと一緒に、のんびりと過ごすことができたのかもしれない。私も久しぶりにのんびりと、楽しみながら休日を過ごしました。ある日の夜、テレビを見ていたら黒柳徹子さんがゲストとして司会者のインタビューを受けていました。黒柳徹子さんは御年91歳。「窓際のトットちゃん」の著者でテレビタレントとして皆さんもご存知かと思いますが、そのほかにユニセフ親善大使他、数々の文化事業に貢献し、その功績を称え多くの賞を受賞されています。その徹子さんに、「今の若者に向けてメッセージは？」と若いタレントさんが質問をしました。その質問に対して「たくさん本を読んでほしい。たくさん学んでほしい。戦争や争いは二度としない世の中を作ってほしい。＝中略＝。時間を大事にして幸せになってほしい。」と答えていました。私はその答えに、なんて、深くて尊い、力強いメッセージなのだろうか…と。私たちが想像もつかない戦前、戦中、戦後の日本を知り、その時々で、持ち前の度胸と、明るさで時代を乗り越えられたのは、「なぜ？」「どうして？」と考えられる好奇心や、「知りたい」「分かりたい」と感じられる知識や感性が備わっていたからかもしれません。そして、その好奇心や、知識、感性は様々な学びや体験から培い、生きる力になっているのだろうか…と。更に驚いたのは、「今後の目標は？」の問いに「100歳になったら政治記者になりたい。だから、政治の勉強をしているの」と。止まらない好奇心、チャレンジ精神に年齢制限はないのだなと思いましたが、その根底にあるのは、“「なぜ？」「どうして？」と考えられる好奇心や、「知りたい」「分かりたい」と感じられる知識や感性”を持つことであり、それには日々の「学び」から始まり、やがて「自立」へとつながっていくのだと勝手に解釈してしまいました。

冒頭に述べましたが、3学期は子供達にとって次年度の大変な予備期間です。本校の様々な教育活動(経験)から、「なぜ？」「どうして？」と考えられる好奇心や「知りたい」「分かりたい」と感じられる知識や感性を育み「自立」へとつながっていけるよう精進しますと、亀戸天神社にて初詣をして参りました。

今年もよろしくお願い申し上げます。☺